

ま な び ~ MANABI 発信! ~

今月は、夏休み特別号です。

夏休み期間中、家庭や地域社会の中で、普段できない体験や学習に取り組み、新たな感動や発見に出会えたことでしょう。夏休みのイベントから子どもたちの挑戦の姿をお伝えします。



第23回「カプラ・親子フェスタ」～創造とつながりの輪～

7月19日(土)、市内幼稚園・認定こども園・保育園に通う家族およそ60組が大和郡山市総合公園多目的体育館(金魚スクエア)に集まり、カプラで楽しい親子のひとときを過ごしました。



今年、大阪・関西万博が開催されていることもあり、作品づくりのテーマは「カプラで作ろう!世界のまち」となりました。世界の国へ想いを馳せ、想像を広げながらつくった作品、身近な日本や自分たちの暮らす街をつくった作品等、シンプル一枚の木の板から、創造性に溢れるたくさんの作品が生まれました。80万ピースのカプラが広がった金魚スクエアは、木のぬくもりと親子の笑顔に溢れ、会場いっぱいに幸せな気持ちと、カプラの心地よい音が響きました。

第6回 小学生サミット開催！

テーマ「明日も行きたくなる学校を考えよう！」

7月31日（木）、各小学校より2名の代表者がDMG MORIやまと郡山城ホールに集い、第6回小学生サミットが開催されました。



自分たちで給食を
リクエストしたいな

子どもたちの提案の多くから、
「自分」という言葉が聞かれました。

夏休みの宿題は必要？
宿題の量や内容は
自分たちで決めたいな！



自分たちで
選べる制服にしよう！

緊張した様子でスタートしましたが、子どもたち同士互いに質問をしたり、うなずいたりしながら聴いている様子が素敵でした。

子どもたちの感想より

- ★自分の想いを声にできた喜びや自信につながった
- ★いろいろな考え方にふれ、新しい発見ができ楽しかった
- ★話し合いは苦手で難しいと思っていたけれど楽しく感じられた等、これからの意欲につながる感想が多く聞かれました。



第6回 大和郡山市子ども議会開催！

8月18日（月）、各中学校より2名の代表者が「大和郡山市議会議場」に集まり、開催されました。この議会は、市内の児童・生徒を支援する保護者・地域の方がボランティアで「大和郡山市子ども議会実行委員会」を組織し運営しています。次代を担う子どもたちが市議会や行政の仕組み、役割を学び、大和郡山市のまちづくりに関心を深め、自分たちが置かれている環境に対して、自ら考える力を高めていけるようになってほしい、という願いが込められています。

今年も、参加した中学生の議員からは、しっかりと調べてきた現状やデータをもとにした提案がありました。上田市長と谷垣教育長に、日々の生活の中から感じていることを、具体的なアイデアを盛り込みながら、自分の言葉で堂々と述べる姿は、さすがでした。

【中学生議員からの提案】

- 街灯を増やして事故や不審者被害の少ない安心、安全な街に
- 残食の可視化で子どもたちに給食への意識改革を
- みんなが過ごせる快適な場所づくり
- 大和郡山市の防災訓練について
- 修学旅行費用の一部助成について
- 学校生活をよりよくし、学校の魅力を発信したい！ 等



すべてを紹介しているわけではありませんが、中学生の目線で見ると街の現状やそこから生み出されたアイデアから、大人が改めて気づかされることも多くありました。大人にとっても「学び」につながる機会となったとなりました。

また、この議会の中で、市長からは、ケネディ大統領の言葉を引用し「何をしてもらおうかではなく、自分が何をできるか」、教育長からは、大河ドラマの中の田沼意次の言葉を引用し「お前は、何かしているのか」というお話があったように、自分自身が主体的に考え、行動することが今後求められます。

「今、自分たちに何ができるのか？」ということを考え、社会に参加する姿勢を大切にしてほしいです。そして、子ども議会のように、子どもと大人が一緒になって考えていけるような、人と人との「輪」をつなげていきたいと思います。

